

# book

武雄市図書館のコーナー

## 松尾浩史

被災地の真実の姿  
ふるさとの復興に  
かける信念の一冊



陸前高田市の戸羽太市長が、東日本大震災の地震と津波で妻を亡くした絶望感の中、ゼロからの復興をスタートした軌跡が綴られています。

第1章「あの日、陸前高田市が消えた」、第2章「被災地が直面した日々」、第3章「『ふるさと』は必ずよみがえる!」、第4章「被災地を救うリーダー論」など…本書の内容は、武雄市が進める被災地応援プロジェクトと重なって読むことができ、「被災地の現実」を問う指針となる書です。



まつお・ひろし ◆東川登小学校校長。  
「教職33年目の秋を武雄市で迎えることができ幸せです。創立138年目を迎える東川登小。恵まれた地域環境を俳句にスケッチできるように修行中です。」

### 『被災地の本当の話をしよう 陸前高田市が綴るあの日とこれから』

戸羽太著  
ワニブックス PLUS 新書

1986年にチエルノブイリ原発事故が発生して26年が過ぎた。2011年に発生した東日本大震災から引き起こされた福島第一原発の事故から1年が経過した今、原発を考える資料として注目されている。

チエルノブイリ後、10年して出版された旧版は社会に向け警鐘を鳴らしたが、東海村JOC事故・福島第一原発事故が繰り返された。

原子力事故の再発を防ぐために、子どもにも理解できる言葉と文章で綴られた本書は、子ども達と明日の社会へ責任を持つ私達の道標となる書である。

福山隆志 ◆若木小学校栄養教諭。栽培活動を中心とした教育を進めている。「食と農で子どもを育てる」視点で、武雄の子どもと大人の元気を支えるべく奮闘中。



『新版 原発を考える 50話』  
西尾浩著  
岩波ジュニア新書